

第1 事業実施体制

中核機関	
中核機関代表名	
産地協議会の構成員	都道府県： 産地協議会： 大学又は試験研究機関： その他：
事務局	〇〇産地協議会（ＪＡ〇〇）
担 当 者： 住 所： 電 話 番 号： e-mail アドレス：	
会計担当者	〇〇産地協議会（ＪＡ〇〇）
担 当 者： 住 所： 電 話 番 号： e-mail アドレス：	

注1：苗木生産コンソーシアムの推進体制がわかる資料を添付すること。

2：地域協議会については、果樹産地構造改革計画を添付すること。

第2 事業の実施について

1 事業の実施方針

--

注：現状の問題点を踏まえて、事業の実施方針を記入すること。

2 成果目標

目標年度	
成果目標	
成果目標の具体的な内容	
事後評価の検証方法	

注：成果目標の具体的な内容については、事業実施3年後までに隔離検疫を終えて、輸入する予定の品種名を記入すること。

3 隔離栽培計画

(1) 輸入ぶどう苗木等の品目・品種

	品目	品種	輸入本数	輸入相手国	隔離検疫の期間	産地協議会への 出荷予定時期	配布希望産地協議会及び配布希望数 量
1年目							
	合計						
2年目							
	合計						
3年目							
	合計						

注1：「配布希望産地協議会及び配布希望数量」の欄には、配布希望の産地協議会名の後に（）書きで配布数量を記入すること。

2：事業実施3年後までに隔離検疫を終えて、輸入する予定の品種については、2の成果目標と整合をとること。

(2) 隔離栽培施設の概要

隔離栽培施設の場所	施設管理者	施設の面積 m ²	栽培可能本数 本	施設の概要

連携している植物防疫所

注：担当課、係まで記入すること

第3 取組内容

1 現地検討会・講習会等の開催

開催時期	内容	参加人数・対象	場所	必要な経費（円）			備考
					うち国費	その他	
合計							

2 隔離栽培用施設の修繕等

作成時期	内容	機械・施設（能力、台数）等	必要な経費（円）			備考
				うち国費	その他	
合計						

注 施設の見取り図、修繕等の内容がわかる資料を添付すること。

うち リースによる機械・施設の導入

リース期間	内容	リースする機械・施設（能力、台数）等	必要な経費（円）			備考
				うち国費	その他	
合計						

(1)リース内容

品目名	機械・施設名	仕様 製造会社名 型式	台数	管理者	保管・設置場所	備考

注 対象機械が複数ある場合には、適宜、行を追加して機械ごとに記載すること。

(2)農業機械・施設をリースする場合の対象機械の決定の根拠

機械名	リース物件価格 (千円)	リースする機械の選定理由及び規模決定の根拠	備考

注1 「リース物件価格(千円)」の欄には、リースする農業機械の販売業者により設定されている小売希望価格(設定されていない場合は一般的な実勢価格(税抜価格))を記載すること。

注2 「リースする機械の選定理由及び規模決定の根拠」の欄の「規模決定の根拠」では農業機械の能力を決定(導入する機械の能力、台数、単価等)した計算過程をその根拠となる機械の能力等の具体的な数値を用いて記載すること。

(3)リース機械の納入業者の選定方法の計画

入札方式（いずれかに○）	指名業者選定の考え方	備 考
一般競争入札 ・ 指名競争入札		

注「指名業者選定の考え方」の欄は、一般競争入札以外の選定方法で業者を選定した場合、記載すること。

(4) 農業機械のリース料等

リース期間	開始月～終了月（※1）	年	月	～	年	月	（月）	備 考
	リース借受日から○年間（※2）							
リース物件取得予定価格（消費税抜き）	①							（円）
リース期間終了後の残存価格（消費税抜き）	②							（円）
リース料助成申請額	③							（円）
リース諸費用（消費税抜き）	④							（円）
消費税	⑤							（円）
事業実施主体負担リース料（消費税込み） ①－②－③＋④＋⑤								（円）
リース料助成申請額③は、下記の算式のいずれか小さい額を記入すること（使用した算式に○を記入すること）。								
I リース物件価格 × リース期間 / 耐用年数 × 1/2		II （リース物件価格 － 残存価格） × 1/2						

- 注1 ※1及び※2については、いずれかを記入すること。
 2 リース事業者の見積書の写し（実績報告では契約書の写し）等を添付すること。
 3 複数の農業機械をリース導入する場合、表を追加し、機械ごとに記載すること。
 4 別紙のチェック票を添付すること。

第4 活動評価と改善の方法

1 評価体制

(例) 協議会の下に〇〇、××、□□から構成される評価委員会を設置し、毎年度ごとに各取組の実施状況について評価を行い、代表者に報告するものとする。

2 評価に対する改善

(例) 協議会の代表者は、評価委員会に改善を要するとされた取組について、改善計画を作成するものとする。

第5 必要経費

1 経費の配分と負担区分

区 分	事 業 費	負 担 区 分			備 考
		国庫補助	自己負担	その他	
	円	円	円	円	
1 現地検討会・講習会等の開催					
2 隔離栽培用施設の修繕等					
合 計					

注1 「事業費」欄には、本事業の実施に係る事業費の総額を記載すること。

2 事業費＝国庫補助＋自己負担＋その他とすること。

2 収支予算（又は精算）

（1）収入の部

区 分	本年度予算額	本年度精算額	比較増減		備 考
			増	減	
国庫補助金	円	円	円	円	
自己資金					
その他					
合 計					

（2）支出の部

区 分	本年度予算額	本年度精算額	比較増減		備 考
			増	減	
果樹種苗増産緊急対策事業	円	円	円	円	
合 計					

注1 経費積算の基礎等の根拠資料を提出すること。

2 適宜、行を追加して記入すること。

第6 事業完了予定（完了）年月日

年	月	日
---	---	---

チェック票

- 1 入札や相見積もりはどなたが行いましたか。
- ① 自身で行った
- ② J Aを通じて行った
- ③ 農機販売店を通じて行った
- ④ 市町村を通じて行った
- ⑤ リース会社を通じて行った
- ⑥ 輸入代理店を通じて行った
- ⑦ 協議会が行った
- ⑧ その他（ ）

- 2 入札や相見積もりの際に助成金を活用することを明らかにしましたか。
- ① 明らかにしなかった
- ② 明らかにした

- 3 入札や相見積もりを行う際にメーカーや機種を指定しましたか。
また、指定をされた方はその理由を教えてください。
- ① 指定していない
 - ② 複数メーカーを指定した
 - ③ メーカーを一社のみ指定した
 - ④ 機種を指定した

指定した理由：

- 4 入札や相見積りの結果は、助成金を活用せずに購入する場合に想定される価格と比較してどのように感じましたか。また、その理由をどのように考えましたか。

想定していた価格： 円

- ① ほとんど変わらなかった
② 高かった

高かった理由：

- ③ 安かった

安かった理由：

- ④ わからない

＜裏面につづく＞

- ～以下は購入先の販売店から聞き取って記入してください。～

- (単位：円)

定価	実勢価格	導入価格	実売価格と比較し 5 % 以上高い理由

番 号
年 月 日

都道府県法人等
理事長等

事業実施者名
所在地
代表者指名

○年度果樹種苗増産緊急対策事業実績報告兼補助金支払請求書

貴協会の業務方法書に基づき、果樹種苗増産緊急対策事業の実績について別紙のとおり報告する。
また、併せて、下記のとおり果樹種苗増産緊急対策事業補助金 円の支払いを請求する。

記

1 事業の目的及び内容

2 経費の配分

区分	補助事業 に要する 経費	負担区分		備考
		国（本年度国庫補 助金）	自己負担	
果樹種苗増産緊急対策事業	円	円	円	
計				

注 備考欄には、消費税仕入れ控除税額について、これを減額した場合には「除税額〇〇〇円うち
国費〇〇〇円」を、同税額がない場合には「該当なし」と同税額が明らかでない場合には「含税
額」とそれぞれ記載すること。

3 事業完了予定年月日（又は事業完了年月日）
年 月 日

4 収支精算額

(1) 収入の部

区分	本年度 精算額	本年度 予算額	比較		備考
			増	減	
国庫補助金	円	円	円	円	円
自己負担金					
計					

(2) 支出の部

区分	本年度 精算額	本年度 予算額	比較		備考
			増	減	
果樹種苗増産緊急対策事業	円	円	円	円	円
計					

(注) 別添書類として、次の写しを添付する。

- 1 別添書類として、果樹種苗増産緊急対策事業実施計画（別添８－１別添）の写しを添付する。
なお、計画承認の事業内容から変更がある場合には、計画承認を受けた計画書の変更箇所を加筆修正（変更前を上段括弧で二段書）した該当資料ページを添付して提出すること。
- 2 その他必要な書類

別添 8－3（Ⅱの第2の12（1）関係）

番 号
年 月 日

都道府県法人等
理事長等

事業実施者名
所在地
代表者指名

○年度果樹種苗増産緊急対策事業の実施状況の報告について

貴協会の業務方法書第○条に基づき、果樹種苗増産緊急対策事業の実施状況について別添のとおり報告します。

（注）別添書類として、次の写しを添付する。

- 1 別添の果樹種苗増産緊急対策事業実施状況確認シート
- 2 その他必要な書類

果樹種苗増産緊急対策事業実施状況確認シート

都道府県名			
事業実施者名		中核機関 及び代表 者名	
目標年度	年度	(事業実施 年目)	

1 事業の実施状況

隔離栽培施設の場所	施設管理者	施設の面積	栽培可能本数
		m ²	本
連携している植物防疫所			

注：担当課、係まで記入すること

	品目	品種	輸入本数	隔離検疫 の期間	配布時期 (予定)	配布先 (本数)	備考
前年							
	計						
○年目 (年度)							
	計						

注：適宜、行等を追加して記入すること。

2 事業の取組状況

果樹種苗増産緊急対策事業の取組状況

--

3 取組の総評

--

4 今後の課題と翌年度計画への反映状況

--

別添８－４（Ⅱの第２の１３（１）関係）

番 号
年 月 日

都道府県法人等
理事長等

事業実施者名
所在地
代表者指名

○年度果樹種苗増産緊急対策事業の目標達成状況の報告について

貴協会の業務方法書第○条に基づき、果樹種苗増産緊急対策事業の目標達成状況について別添のとおり報告する。

（注）別添書類として、次の写しを添付する。

- 1 別添の果樹種苗増産緊急対策事業目標達成状況確認シート
- 2 必要に応じて実施状況報告を添付すること
- 3 その他必要な書類

果樹種苗増産緊急対策事業目標達成状況確認シート

都道府県名			
事業実施者名		中核機関 及び代表 者名	
目標年度	年度	(事業実施	年目)

1 成果目標の達成状況

成果目標	
成果目標の具体的な内容	
検証方法及び達成状況	

品目	品種	輸入 本数	隔離検疫 の期間	計画		実績	
				3年目（年度）		3年目（年度）	
				出荷時期	出荷先	出荷時期	出荷先
計							

注：適宜、行等を追加して記入すること。

2 事業の取組状況

（1）果樹種苗増産緊急対策事業の取組状況

--

（2）取組の総評

--

別添 8－5（Ⅱの第2の13（2）関係）

都道府県法人等
理事長等

事業実施者名
所在地
代表者指名

○年度果樹種苗増産緊急対策事業における改善計画について

貴協会の業務方法書第○条に基づき、改善計画を実施することとしたいので、報告する。

記

- 1 改善計画の趣旨
- 2 事業で整備した隔離栽培施設での隔離検疫の実施状況及び取組の経過
- 3 成果目標が未達成である原因及び問題点
- 4 事業の実績及び改善計画

成果目標	
成果目標の具体的な内容	
検証方法及び達成状況	

品目	品種	輸入 本数	隔離 検疫 の期間	目標の達成状況		改善計画			
				出荷時期	出荷先	1 年 目 （ 年度 ）		2 年 目 （ 年度 ）	
						出荷時期	出荷 先	出荷時期	出荷 先
計									

注：適宜、行等を追加して記入すること。

- 5 改善方策
- 6 改善計画を実施するための推進体制

番 号
年 月 日

都道府県法人等
理事長等

事業実施者名
所在地
代表者指名

○年度果樹種苗増産緊急対策事業収益状況報告書

○年度において、貴協会の業務方法書第○条に基づき、補助金の交付決定があった果樹種苗増産緊急対策事業に関する ○年度の収益の状況について、貴協会の業務方法書第○条に基づき、下記のとおり報告する。

記

1	事業の目的及び内容	円
2	補助事業の成果の企業化による収益額	円
3	補助事業に関して支出された総額	円
4	企業化に係る総費用	円
5	補助金の確定額	円
6	前年度までの収益納付額	円
7	本年収益納付額	円

（注）各項目の算出の根拠となる資料を添付すること

別添 9-1 (Ⅱの第3の9 (1) 関係)

番 号
年 月 日

都道府県法人等
理事長等

事業実施者名
所在地
代表者指名

○年度花粉専用園地育成推進事業補助金(変更) 交付申請書

○年度において、下記のとおり事業を実施したいので、貴協会の業務方法書第○条に基づき、
花粉専用園地育成推進事業補助金 円の交付を申請する。

記

1 事業の目的及び内容

2 経費の配分

区分	補助事業に 要する経費	負担区分		備考
		国(本年度国 庫補助金)	自己負担	
花粉専用園地育成推進事業	円	円	円	
計				

注 備考欄には、消費税仕入れ控除税額について、これを減額した場合には「除税額○○○円うち国費○○○円」を、同税額がない場合には「該当なし」と同税額が明らかでない場合には「含税額」とそれぞれ記載すること。

3 事業完了予定年月日(又は事業完了年月日)

年 月 日

4 収支精算額(又は収支精算額)

(1) 収入の部

区分	本年度 精算額	本年度 予算額	比較		備考
			増	減	
国庫補助金	円	円	円	円	円
自己負担金					
計					

(2) 支出の部

区分	本年度 精算額	本年度 予算額	比較		備考
			増	減	
花粉専用園地育成推進事業	円	円	円	円	円
計					

(注) 別添書類として、次の写しを添付する。

- 1 別添書類として、花粉専用園地育成推進事業実施計画（別添 9－1 別添）の写しを添付する。

なお、計画承認の事業内容から変更がある場合には、計画承認を受けた計画書の変更箇所を加筆修正（変更前を上段括弧で二段書）した該当資料ページを添付して提出すること。

- 2 その他必要な書類

果樹農業生産力増強総合対策

花粉専用園地育成推進事業実施計画
(兼実績報告) 書

都道府県名 :

事業実施年度 : 年度

目標年度 : 年度

支援対象者名 :

対象地域 :

第1 事業実施体制
支援対象者の概要

支援対象者名（農業 者名又は生産出荷団 体名）	
代表者名（以下、生 産出荷団体の場合）	
事務局	
担 当 者 :	
住 所 :	
電 話 番 号 :	
e-mailアドレス:	

第2 事業の実施について
1 事業実施方針

--

注：現状の問題点を踏まえて、事業の実施方針を記入すること。

2 成果目標

成果目標	
成果目標の具体的な内 容	
事後評価の検証方法	

3 花粉の供給を必要とする品種

協 議 会 名	品目名	品種名	現在の栽培面積 (a) (年度)	事業実施後 5年目の新植・ 改植面積 (年度)	花粉の	うち本事業で の生産量	備考
					目標数量 (g)		
	計						
	計						
合計							

注1：品目・品種は産地計画で「生産を振興する品目・品種」に位置づけられた品目・品種を記入すること。
2：現在の栽培面積の欄は、事業を実施する年度の面積を記入すること。
3：適宜、行等を追加して記入すること。

4 花粉の供給計画

ほ場の設置場所	ほ場 面積 (a)	管理主体名	品目	品種名	品種 登録 の有無	花粉の生産量(g)			備考
						事業実施 後○年目 (年度)	事業実施 後○年目 (年度)	事業実施 後5年目 (目標年) (年度)	
			(例)なし						
			(例)キウイ フルーツ						

注1：「設置場所」の欄は、花粉生産ほを設置する市町村名・地域名を、特定の機関の敷地内に設置する場合には機関名を記入すること。
2：管理主体名は、花粉生産ほに関する責任者名(又は管理する機関名)を記入すること。
3：生産する花粉が登録品種であれば、「品種登録の有無」の欄に「有」を記入すること。
4：登録品種の場合、備考欄に育成者の許諾を受けるなど増殖に問題がない旨を記入すること。
5：適宜、行等を追加して記入すること。

5 花粉生産ほの管理・作業の内容

ほ場の 設置場所	品目・品種名	作業内容			備考
		事業実施後○年目	事業実施後○年目	事業実施後○年目	

注1：花粉生産期間中における主な管理・作業等について記入すること。
2：年ごとの管理・作業等が分かるように記入すること。
3：適宜、行を追加して記入すること。

第3 取組毎の内容

1 検討会の開催

開催時期	内容	参加人数・対象	場所	必要な経費（円）			備考
					うち国費	その他	
合 計							

2 小規模園地整備

取組内容	園地の 所在地	管理 主体	計画 面積 (受益 面積)	事業量 (延長、 幅員)		事業費	補助金		事業 着工 (予定) 年月日	事業 完了 (予定) 年月日	備考
				当年度 完了 (予定) 分	次年度 完了 (予定) 分		当年度 完了 (予定) 分	次年度 完了 (予定) 分			
			m	m	m	円	円	円			
合 計						円	円	円			

注1 「取組内容」の欄には、「園内道の整備」、「傾斜の緩和」、「土壌土層改良」、「排水路の整備」、「用水・かん水施設の整備」のいずれかを実施すること。

2 備考欄には、仕入れに係る消費税等相当額について、これを減額した場合には「除税額〇〇円 うち補助金〇〇円」を、同額がない場合には「該当なし」と、同税額が明らかでない場合には「含税額」とそれぞれ記入するとともに、同税額を減額した場合には小計及び合計の欄の備考の欄に合計額（「除税額〇〇円 うち補助金〇〇円」）を記入すること（以下同じ）。

3 新植・改植（なし、キウイフルーツ、りんご等）

取組内容 (新植又 は改植)	導入品目 (品種)	(改植の場合) 現況の品目 (品種)	園地の 所在地	管理 主体	計画 面積 (受益 面積)	事業量 (植栽する 苗木の本 数)		助成単価	補助金	事業 着工 (予定) 年月日		事業 完了 (予定) 年月日	備考
						当年度 完了 (予定) 分	次年度 完了 (予定) 分			当年度 完了 (予定) 分	次年度 完了 (予定) 分		
					m	m	m	円/m	円	円	円		
合 計								円/m	円	円	円		

4 花粉専用樹の育成管理

対象品目名	対象面積 (新植・改植面積を 上限)	補助金額 (対象面積×11万円 /10a)	備 考
	ha	円	
合 計			

5 機械・施設のリース導入

リース期間	内容	リースする機械・施設 (能力、台数) 等	必要な経費		備考
			うち国費	その他	
			円	円	円
合 計			円	円	円

(1) リース内容

品目名	機械・施設名	仕 様 製造会社名 型 式	台数	管理者	保管・設置場所	備 考

注 対象機械が複数ある場合には、適宜、行を追加して機械ごとに記載すること。

(2) 農業機械・施設をリースする場合の対象機械の決定の根拠

機械名	リース物件価格（千円）	リースする機械の選定理由及び規模決定の根拠	備 考

注1 「リース物件価格（千円）」の欄には、リースする農業機械の販売業者により設定されている小売希望価格（設定されていない場合は一般的な実勢価格（税抜価格））を記載すること。

注2 「リースする機械の選定理由及び規模決定の根拠」の欄の「規模決定の根拠」では農業機械の能力を決定（導入する機械の能力、台数、単価等）した計算過程をその根拠となる機械の能力等の具体的な数値を用いて記載すること。

(3) リース機械の納入業者の選定方法の計画

入札方式（いずれかに○）	指名業者選定の考え方	備 考
一般競争入札 ・ 指名競争入札		

注 「指名業者選定の考え方」の欄は、一般競争入札以外の選定方法で業者を選定した場合、記載すること。

(4) 農業機械のリース料等

リース期間	開始月～終了月	年 月	～	年 月	(月)	備 考
	リース借受日から〇年間				(年)	
リース物件取得予定価格（消費税抜き）		①				(円)
リース期間終了後の残存価格（消費税抜き）		②				(円)
リース料助成申請額		③				(円)
リース諸費用（消費税抜き）		④				(円)
消費税		⑤				(円)
事業実施主体負担リース料（消費税込み） ①－②－③＋④＋⑤					(円)	
リース料助成申請額③は、下記の算式のいずれか小さい額を記入すること（使用した算式に○を記入すること）。						
I リース物件価格 × リース期間 / 耐用年数 × 1/2		II (リース物件価格 － 残存価格) × 1/2				

- 注1 リース事業者の見積書の写し（実績報告では契約書の写し）等を添付すること。
 2 複数の農業機械をリース導入する場合、表を追加し、機械ごとに記載すること。
 3 別紙のチェック票を添付すること。

第4 必要経費

1 経費の配分と負担区分

区 分	事 業 費	負 担 区 分			備 考
		国庫補助	自己負担	その他	
1 検討会の開催	円	円	円	円	
2 小規模園地整備					
3 新植・改植					
4 花粉専用樹の育成管理					
5 機械・施設のリース導入					
合 計					

- 注1 「事業費」欄には、本事業の実施に係る事業費の総額を記載すること。
 2 新植等の補助率の異なる取組を行う場合は補助率ごとに記載欄を分けて記載すること。
 3 1、2及び5は事業費＝国庫補助＋自己負担＋その他とすること。

2 収支予算（又は精算）

（1）収入の部

区 分	本年度予算額	本年度精算額	比較増減		備 考
			増	減	
国庫補助金	円	円	円	円	
自己資金					
その他					
合 計					

（2）支出の部

区 分	本年度予算額	本年度精算額	比較増減		備 考
			増	減	
花粉専用園地育成推進事業	円	円	円	円	
合 計					

注1 経費積算の基礎等の根拠資料を提出すること。

2 適宜、行を追加して記入すること。

第6 事業完了予定（完了）年月日

年	月	日
---	---	---

第7 添付資料

事業実施主体及び事業実施者が必要と認める資料

チェック票

- 1 入札や相見積もりはどなたが行いましたか。
- ① 自身で行った
 - ② J Aを通じて行った
 - ③ 農機販売店を通じて行った
 - ④ 市町村を通じて行った
 - ⑤ リース会社を通じて行った
 - ⑥ 輸入代理店を通じて行った
 - ⑦ 協議会が行った
 - ⑧ その他 ()
- 2 入札や相見積もりの際に助成金を活用することを明らかにしましたか。
- ① 明らかにしなかった
 - ② 明らかにした
- 3 入札や相見積もりを行う際にメーカーや機種を指定しましたか。また、指定をされた方はその理由を教えてください。
- ① 指定していない
 - ② 複数メーカーを指定した
 - ③ メーカーを一社のみ指定した
 - ④ 機種を指定した
- 指定した理由：
- 4 入札や相見積もりの結果は、助成金を活用せずに購入する場合に想定される価格と比較してどのように感じましたか。また、その理由をどのように考えましたか。

想定していた価格：	円
-----------	---

- ① ほとんど変わらなかった
② 高かった

高かった理由：

- ③ 安かった

安かった理由：

- ④ わからない

＜裏面につづく＞

- 7 リース手数料について、引き下げ交渉を行いましたか。
- ① 引き下げ交渉は行っていない
- ② 引き下げ交渉を行い、当初の提示よりも引き下げてもらった
- ③ 引き下げ交渉を行ったが、当初の提示どおりだった

8 導入する農業機械の定価及び平均的な販売価格（実売価格、本体部分のみ、税抜き）、
入札・相見積もり時の価格が実売価格と比較し、5%以上高い場合はその理由

定価	実勢価格	導入価格	実売価格と比較し５％以上高い理由

番 号
年 月 日

都道府県法人等
理事長等

事業実施者名
所在地
代表者指名

○年度花粉専用園地育成推進事業実績報告兼補助金支払請求書

貴協会の業務方法書に基づき、花粉専用園地育成推進事業の実績について別紙のとおり報告する。

また、併せて、下記のとおり花粉専用園地育成推進事業補助金 円の支払いを請求する。

記

1 事業の目的及び内容

2 経費の配分

区分	補助事業 に要する 経費	負担区分		備考
		国（本年度国庫補助金）	自己負担	
花粉専用園地育成推進事業	円	円	円	
計				

注 備考欄には、消費税仕入れ控除税額について、これを減額した場合には「除税額〇〇〇円うち国費〇〇〇円」を、同税額がない場合には「該当なし」と同税額が明らかでない場合には「含税額」とそれぞれ記載すること。

3 事業完了予定年月日（又は事業完了年月日）

年 月 日

4 収支精算額

(1) 収入の部

区分	本年度 精算額	本年度 予算額	比較		備考
			増	減	
国庫補助金	円	円	円	円	円
自己負担金					
計					

(2) 支出の部

区分	本年度 精算額	本年度 予算額	比較		備考
			増	減	
花粉専用園地育成推進事業	円	円	円	円	円
計					

(注) 別添書類として、次の写しを添付する。

- 1 別添書類として、花粉専用園地育成推進事業実施計画（別添 8－1 別添）の写しを添付する。

なお、計画承認の事業内容から変更がある場合には、計画承認を受けた計画書の変更箇所を加筆修正（変更前を上段括弧で二段書）した該当資料ページを添付して提出すること。

- 2 その他必要な書類

別添 9－3（Ⅱの第3の11（1）関係）

番 号
年 月 日

都道府県法人等
理事長等

事業実施者名
所在地
代表者指名

○年度花粉専用園地育成推進事業の実施状況の報告について

貴協会の業務方法書第〇条に基づき、花粉専用園地育成推進事業の実施状況について別添のとおり報告します。

（注）別添書類として、次の写しを添付する。

- 1 別添の花粉専用園地育成推進事業実施状況確認シート
- 2 その他必要な書類

花粉専用園地育成推進事業実施状況確認シート

都道府県名			
事業実施者名		中核機関 及び代表 者名	
目標年度	年度	(事業実施	年目)

1 事業の実施状況

育苗ほの設置場所	ほ場 面積 (a)	管理 主体名	品目	品種名	品種 登録の 有無	花粉の生産量 (g)		備 考
						事業実施後 ○年目 (年度)	事業実施後 ○年目 (年度)	

注：適宜、行等を追加して記入すること。

2 事業の取組状況

花粉専用園地育成推進事業の取組状況

3 取組の総評

4 今後の課題と翌年度計画への反映状況

別添 9－4（Ⅱの第3の12（1）関係）

番 号
年 月 日

都道府県法人等
理事長等

事業実施者名
所在地
代表者指名

○年度花粉専用園地育成推進事業の目標達成状況の報告について

貴協会の業務方法書第○条に基づき、花粉専用園地育成推進事業の目標達成状況について別添のとおり報告する。

（注）別添書類として、次の写しを添付する。

- 1 別添の花粉専用園地育成推進事業目標達成状況確認シート
- 2 必要に応じて実施状況報告を添付すること
- 3 その他必要な書類

花粉専用園地育成推進事業目標達成状況確認シート

都道府県名			
事業実施者名		中核機関及び 代表者名	
目標年度	年度	(事業実施	年目)

1 成果目標の達成状況

成果目標	
成果目標の具体的な内容	
検証方法及び達成状況	

育苗ほの 設置場所	ほ場 面積 (a)	管理 主体名	品目	品種名	花粉の供給計画			
					計画		実績	
					事業実施後 5 年目		事業実施後 5 年目	
					(目標年) (年度)	うち本事業で の生産量	(目標年) (年度)	うち本事業 での生産量

注：適宜、行等を追加して記入すること。

2 事業の取組状況

(1) 花粉専用園地育成推進事業の取組状況

--

(2) 取組の総評

--

別添 9－5（Ⅱの第3の12（2）関係）

都道府県法人等
理事長等

事業実施者名
所在地
代表者指名

○年度花粉専用園地育成推進事業における改善計画について

貴協会の業務方法書第○条に基づき、改善計画を実施することとしたいので、報告する。

記

1 改善計画の趣旨

2 事業で借り上げ、整備したほ場での花粉生産の状況及び取組の経過

3 成果目標が未達成である原因及び問題点

4 事業の実績及び改善計画

成果目標	
成果目標の具体的な内容	
検証方法及び達成状況	

育苗ほの設置場所	ほ場面積（a）	管理主体名	品目	品種名	目標の達成状況		改善計画			
					事業実施後5年目		1年目		2年目	
					（目標年） （年度）	花粉の生産量 （g）	（目標年） （年度）	花粉の生産量 （g）	（目標年） （年度）	花粉の生産量 （g）

注：適宜、行等を追加して記入すること。

5 改善方策

6 改善計画を実施するための推進体制

別添 10－ 1

加工専用果実生産支援事業補助金交付申請書

番 号
年 月 日

公益財団法人 中央果実協会
理事長 殿

住 所
事業実施者
代表者氏名

実施要領の別紙 3 果樹農業生産力増強総合対策のⅢの第 1 の 1 の（４）のアに基づき、
下記のとおり加工専用果実生産支援事業補助金の交付を申請します。

記

1 補助金交付申請額 円

2 補助金交付申請額 内訳

事業内容	事業費	補助金交付額	摘要
	円	円	
計			

注）別添として事業実施計画書を添付する。

(別添)

加工専用果実生産支援事業実施計画（実績）

事業実施者名
担当者所属、氏名
電話番号
F A X
メールアドレス

1 総括表

事業名	事業内容	事業費	負担区分		備考
			補助金	事業実施者	
		円	円	円	

2 事業の目的

--

3 事業の内容

(1) 検討会

検討会	開催時期	検討項目及び内容	参集者の構成 及び人数	備考

(2) 試作品開発に当たっての調査の実施（ニーズ調査、反応評価等）（又は実績）

実施場所	回数	調査対象及び人数	調査内容	備考

(3) 試作品の内容

試作品開発 時期	試作品の種類	原材料（うち果実の 品目、果実の割合等）	試作品のコンセプト	備考
年 月～年 月				

注）備考に改良及び開発に必要な材料、資材等を記述すること。

(4) 栽培技術の実証

実証時期	実施場所	実証課題	実証内容	備考
年 月～年 月				

(5) マニュアル・調査報告書等の作成及び配布等

報告書等の名称	内容等	作成部数等	備考
		部	

(6) 事業成果報告会・交流会

開催場所	開催時期	内容	参集者の構成 及び人数	備考

4 経費の配分

事業種目 (取組名)	事業に要する（又 は要した）経費	負担区分			摘要
		補助金	自己負担	その他	
		円	円	円	

注） 1 負担区分その他の欄については、内訳を摘要欄に記載すること。

2 事業種目の内訳として括弧書きで取組名ごとに記載すること。

5 事業完了予定年月日（又は完了年月日）

6 収支予算

（1）収入の部

区 分	本年度予算額又は 本年度精算額	前年度予算額 又は本年度予算額	比 較 増 減		備 考
			増	減	
補助金	円	円			
自己負担金					
その他					
計					

注）備考の欄その他の内容を記入すること

（2）支出の部

区 分	本年度予算額又は 本年度精算額	前年度予算額 又は本年度予算額	比 較 増 減		備 考
			増	減	
補助金	円	円			
自己負担金					
その他					
計					

別添 10－ 2

加工専用果実生産支援事業実績報告書兼支払請求書

番 号
年 月 日

公益財団法人 中央果実協会
理事長 殿

住 所
事業実施者
代表者氏名

実施要領の別紙 3 果樹農業生産力増強総合対策のⅢの第 1 の 1 の (5) のアに基づき、
別添のとおり加工専用果実生産支援事業の事業実績を報告します。
併せて、下記のとおり補助金の支払を請求します。

記

1 交付決定額 円

2 補助金実績額及び請求額 円

3 補助金実績額及び請求額 内訳

事業内容	事業費	補助金実績額及び請求額	摘要
	円	円	
計			

注) 別添は、別添 10－ 1 に準ずるものとする。

別添 11- 1

国産果実競争力強化事業補助金交付申請書

番 号
年 月 日

都道府県法人理事長 殿

住 所
事業実施者名
代 表 者 氏 名

実施要領の別紙 3 果樹農業生産力増強総合対策のⅢの第 1 の 2 の (4) のアに基づき、
下記のとおり補助金の交付を申請します。

記

1 補助金交付申請額

今回交付額

前回交付額

残 額

計

2 今回補助金交付申請額 内訳

事 業 種 目	事 業 費	補助金交付額	摘 要
	円	円	
計			

(別添)

国産果実競争力強化事業実施計画

事業実施者名
担当者所属、氏名
電話番号
FAX
メールアドレス

1 事業の内容

(1) 部門別経営分析及び需要調査

ア 部門別経営分析・需要調査の目的及び効果

イ 部門別経営分析・需要調査の概要

取組事項	実施時期	取組内容	事業費	備考
ア 部門別経営分析			円	
イ 需要調査			円	
計			円	

注) 取組内容の欄については、分析、調査の方法、スケジュール、実施体制等について記入すること。

(2) 果汁工場再編整備合理化

ア 工場合理化の目的及び効果

イ 工場合理化の概要

	現 状			計 画			合 理 化 方 策	事業費	備 考
	構 造	設備数	能力	構 造	設備数	能力			
合理化対象 施設・設備 ○○○ ○○○								円	
労働力 (常 勤) (臨時雇) 計	年間延べ人数		人	年間延べ人数		人			
			人			人			
合 計									